

TIDASHIELDで快適な環境を

人間の体温の感じ方

地球上に到達する太陽の光の構成は、可視光線、赤外線、紫外線となります。これらは、地球に放射される電磁波または**輻射熱**です。

私達、人間の体温 36.5℃よりも低い気温 25℃でも暑く感じるのは、実は太陽からの輻射熱が人体に放射され、人体が熱を持つために暑く感じるのです。焚き火などが**輻射熱**の良い例です。



施工例・工場

西日により熱せられる工場の壁に遮熱シートを施工する事により、壁側にある冷却装置の能力を保ちます。

輻射熱をカットする決め手は反射率

ほとんどの建材は反射率が低く、外部の熱を吸収してしまいます。従って夏は暑く冬は寒いというケースがあります。

反射率が99%のTIDASHIELDは、ほとんどの熱線をはね返します。

市販のアルミ遮光シートと比べると違いが分かります。

実験：室温 20℃
5 分後の温度計測
市販の電気ストーブ 800w
熱源から距離 10 cm で計測



施工例・倉庫

遮熱シートを壁全面、天井に設置。夏は外部からの熱を反射することにより、倉庫内の温度上昇を防ぎます。冬は倉庫内に熱源があれば、その熱を逃がさないで暖かい環境になります。

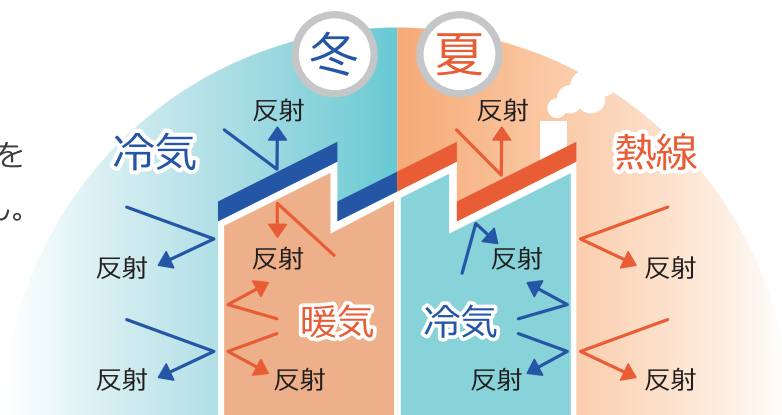


施工例・ガレージ

遮熱シートをガレージの壁3面、天井に設置。夏はかなり高い温度まで上昇するガレージ内を、太陽からの輻射熱を反射する事によって暑さを防ぐだけでなく、駐車中の車内の温度上昇を防ぎます。

冬と夏の熱移動の違い

夏には熱線（電磁波）を反射、外壁からの輻射熱を反射し室内の冷房エネルギーを外部に逃しません。冬には室内の熱源を放出するのを防ぎます。



私たちが販売するTIDASHIELDは暖房シートではありませんが、冬は室内の熱源から出る暖かい熱を逃しません。また夏は外部からの輻射熱を反射して、涼しい環境をもたらせます。一度施工すると、半永久的にメンテナンスが不要なのでランニングコストも不要です。私たちがつたえたいことがここにあります。

